

スピリッツ

久慈工魂

生徒の輝く姿が見える楽しい学校



北海道インターハイ 女子ウェイトリフティング競技 津内口遥渚さん トータル6位入賞 おめでとう！



夏休み中の8月10日(木)から行われた北海道インターハイにおいて ウェイトリフティング競技女子59Kg級に初出場した津内口遥渚さんが見事、トータル6位(スナッチ4位、ジャーク9位)入賞しました。1年生の途中から始めた競技でしたが、高校でこの競技と出会い、大学でも続けたいと意欲を示しています。今後の活躍にも期待します。

また、同男子102Kg級に出場した日當大斗くんはトータル20位、技能五輪全国大会「旋盤」に参加した木澤畑那悠さんは3つの課題のうち1つの課題を完成させたが、予選敗退となりました。二人とも現在持てる力を十分発揮してくれました。全国に挑んだことは今後の心の支えとなります。

部活動は新体制となり、それぞれのステージにおいて、成果が出せるように応援します！頑張れ久慈工生！

専門家による地域デザイン講座！



7月20日(木)に建設環境科2,3年を対象に、野田村交流物産複合施設設計を手がけるパーシモンヒルズアーキテクツの廣岡様、池谷様、設計事務所を営む杉山様、プランニングの大原様から「自らつくり、動かす」と題して、デザイン手法、楽しさを伝えていただきました。専門を学ぶ子供たちは、地域の魅力を発信する建築設計について学び取る良い機会となりました。

新任職員紹介

じつかわ ひとし
實川 仁志先生



夏休み明けから建設環境科に所属していただく實川仁志先生を紹介します。出身は北海道。同地区の種市高校で教員生活をスタートし、県内複数の工業高校で勤務されました。専門は土木です。経験豊富な先生ですので、様々なことを吸収してもらいたいと思います。

また、工藤雅成先生は電子機械科所属となりますが、一部の建設環境科の授業は継続します。

さあ！前期から後期に向けて！

例年の久慈地域と異なり、お盆過ぎても酷暑が続いています。教室のエアコンの稼働に感謝する日々ではありますが、時は待ってくれません。

皆さんには私から「人生の主人公は自分自身である」これをそれぞれ考えることを夏休みの宿題として与えました。人が決めた人生を歩むことほど悲しいものはありません。自分自身が何を目指そうとするかは、自ら最終決定し、その覚悟が必要です。3年生は今まさにそのときであり、1,2年生も近い将来、そのときが来ます。自分の無限の可能性を信じて、この久慈工業高校で試してください。